

Microchip、低レイテンシ PCI Express® 5.0 および CXL™ 2.0 リタイマで データセンター コネクティビティにおけるリーダーシップを強化

高速信号の伝送距離を低コストで 3 倍に延長する XpressConnect™ リタイマ

2020 年 11 月 16 日[NASDAQ: MCHP] – AI(人工知能)、ML(機械学習)、ADAS(高度運転支援システム)等、処理負荷の高いアプリケーションの性能を向上させるため、データセンターにおいて超低レイテンシ信号伝送技術が求められています。この要求に応えるため、Microchip Technology Inc.(日本法人: 東京都港区浜松町、代表: 吉田洋介 以下 Microchip 社)は本日、XpressConnect 低レイテンシ PCI Express (PCIe®) 5.0 および Compute Express Link™ (CXL™) 1.1/2.0 リタイマファミリを発表しました。

XpressConnect リタイマは PCIe Gen 5 の電気信号の伝送距離を 3 倍に延長します。これにより、データセンター機器プロバイダは、先進のハードウェア アーキテクチャに必要な柔軟性と接続性を確保しながら、演算処理 I/O 性能における次世代の進歩を利用できます。XpressConnect リタイマは AI、ML、通信システム、高性能コンピューティング アプリケーションの、要求の厳しい処理負荷に対応できる超低レイテンシ信号伝送を提供します。「ストレージ、処理能力、メモリ帯域幅への要求が高まる中、Microchip 社はハイパースケール データセンター、サーバプロバイダ、ストレージ プロバイダから絶えず優れた処理能力、ストレージ、メモリ接続ソリューションを期待されてきました」と Microchip 社のデータセンター ソリューション部門マーケティングおよびアプリケーション エンジニアリング担当副社長の Andrew Dieckmann は述べています。「Microchip 社は、PCIe [Switchtec™](#) および [Flashtec®](#) 製品の幅広いポートフォリオと、業界のパートナーとの緊密な関係とを活用し、XpressConnect リタイマによるシームレスな相互運用性を提供する事で、エンジニアリング費用の削減と開発期間の短縮に貢献します。」

XpressConnect ファミリは PCIe 仕様よりも 80% 以上低いレイテンシと長い伝送距離が特長です。pin-to-pin レイテンシは 10 ns 未満です。XpressConnect リタイマは、各種 PCIe および CXL デバイスに接続するため各種レーン数で提供しています(最大で PCIe Gen 5 × 16 レーン)。XpressConnect リタイマはパッシブ銅ケーブルと光ケーブルをサポートしており、ホットプラグ、サプライズプラグ等の高信頼性機能を備えています。

XpressConnect は、システム インテグレータが低コストのケーブルと基板材料を使えるようにする事で、マザーボード、バックプレーン、ケーブル、ライザーカード向けに低コストソリューションを提供します。

開発期間を短縮するため、Microchip 社は Intel® 社と提携し、標準ライザーカードのフォームファクタで

XpressConnect リファレンス デザインを開発しました。このリファレンス デザインは Intel 社のリソース&デザインセンターで提供いたします。XpressConnect は、エンジニアリング開発コストを低減し製品の市場投入までの時間を短縮するための ChipLink 診断および開発ツールもサポートしています。

「PCIe 5.0 と CXL は、Intel 社の将来の Xeon スケーラブル プロセッサ (コード名 Sapphire Rapids) の作業負荷性能と機能を拡張します。全ての新しい規格と同様、PCIe 5.0 と CXL の採用は業界のリーダーによって行われる検証と相互運用に依存します」と Intel 社のテクノロジーイニシアティブ部長の Jim Pappas 氏は述べています。「Microchip 社と Intel 社は長年にわたって PCIe ソリューションに関して協力してきました。低レイテンシ リタ

イマを使って次世代 PCIe 5.0 および CXL 1.1/2.0 ソリューションを簡単に導入できる堅牢なエコシステムを提供するための両社の提携が続く事を非常に喜ばしく思います。」

「CXL 委員として、また CXL 仕様を開発する技術作業部会のメンバーとして Microchip 社は、CXL コンソーシアムに大きく貢献しています」と CXL コンソーシアム プレジデントの Barry McAuliffe 氏は述べています。

「Microchip 社の XpressConnect 低レイテンシ リタイマは CXL エコシステムにとって歓迎すべき新製品です。」

開発ツール

Microchip 社は、PCIe Express 5.0 の高帯域幅と CXL 1.1/2.0 の低レイテンシ接続を活用したシステム開発をサポートする設計関連情報、リファレンス デザイン、評価用ボード、ツールを提供しています。豊富なデバッグ、診断、構成、フォレンジック ツールを提供するため、Microchip 社の全データセンター製品で使える、Microchip 社 ChipLink 診断 GUI に XpressConnect リタイマのサポートを追加しました。

在庫/供給状況

XpressConnect リタイマは本日よりサンプル出荷を開始いたします。詳細は Microchip 社または正規販売代理店にお問い合わせください。

Microchip 社はストレージ技術以外にもメモリ、タイミングおよび同期システム、スタンドアロン セキュアブート、セキュア ファームウェアおよび認証、無線製品、データセンター設備を設定および監視するためのタッチスクリーン、空冷ファンの予測制御等のトータルシステム ソリューションを世界中のデータセンター インフラストラクチャメーカーに提供しています。

リソース

高画質の写真は報道関係専用窓口までお問い合わせ頂くか、Flickr でご覧ください(掲載に許可は不要です)。

- アプリケーション画像: www.flickr.com/photos/microchiptechnology/50542295227/sizes/l/

Microchip Technology 社について

Microchip Technology 社(以下、Microchip 社)はスマート、コネクテッド、セキュアな組み込み制御ソリューションのトッププロバイダです。使いやすい開発ツールと包括的な製品ポートフォリオにより、リスクを低減する最適な設計を作成し、総システムコストの削減、迅速な商品化を実現できます。Microchip 社は産業、車載、民生、航空宇宙と防衛、通信、コンピューティングの市場で 120,000 社を超えるお客様にソリューションを提供しています。Microchip 社は本社をアリゾナ州チャンドラーに構え、優れた技術サポート、確かな納期、高い品質を提供しています。詳細は Microchip 社ウェブサイト(<http://www.microchip.com>)をご覧ください。

###

Note: Microchip 社の名称とロゴ、Microchip ロゴ、Flashtec は米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の登録商標です。XpressConnect、Switchtec は米国およびその他の国における Microchip Technology Incorporated の商標です。その他の商標は各社に帰属します。

Microchip 社がデータセンター コネクティビティにおけるリーダーシップを強化
3-3-3-3

詳細については、以下にお問い合わせください。
Daphne Yuen (Microchip 社): (852) 2943 5115
(メール: daphne.yuen@microchip.com)

大川、仙場 (共同 PR): (03) 3571 5236
(メール: taito.okawa@kyodo-pr.co.jp)

報道関係者の方へ: このニュースリリースのメールによる配信については、共同 PR 株式会社 大川もしくは仙場まで電話(03) 3571 5236 またはメール taito.okawa@kyodo-pr.co.jp でお問い合わせください。